

# じとせんひろば

No.99 2020年(令和2年)7月1日

地御前地区自治会



## コロナ禍に負けず、 元気に泳ぐこいのぼり

新型コロナウイルス対策のために外出や様々な活動が自粛・中止に追いやられる中、今年も5月の空を鯉のぼりが泳いだ。いろいろな事がいつもと違う毎日であるが、いつもと同じ鯉のぼりに、いつも以上の幸せを感じた。

【端午の節句は、奈良時代から行われている古い行事です。端午というのは、5月の初めの午(うま)の日という意味です。それがいつのまにか5月5日に固定されてきました。

奈良・平安時代の端午の日は、災厄を避けるための行事が行われる重要な日でした。宮廷ではこの日、軒に菖蒲やよもぎを挿し、臣下の人々は菖蒲を冠に飾ったり、菖蒲の葉の薬玉を柱に下げたりしました。鎌倉時代には、武家の間から菖蒲と尚武をかけてこの日を大切に作る気風が生まれました。江戸時代には、端午は幕府の重要な式日となり、大名や旗本は江戸城に出仕し將軍にお祝を述べました。將軍に世継が生れると、城中にたくさんの幟や作り物の槍、長刀、兜などを立てて盛大にこれを祝いました。

江戸中期になると庶民の間から町民のアイデアで鯉のぼりが生れました。中国に古く



から伝わる登竜門の伝説になぞらえ、竜門の滝を登り切ると鯉が竜になるように、我子も健康に育ち、将来は大きく出世して欲しいとの気持を込めたものです。また、「わが家に男の子が生まれました。どうぞお守りください。」と天の神様に伝え、守っていただく意味があると伝えられています。

この頃は和紙に鯉の絵を描いたものでしたが、大正時代に破れない綿の鯉のぼりが生まれ、昭和30年代の半ばには雨にぬれても色落のしない合成繊維の鯉のぼりが誕生し、現在に受け継がれています。【(株)東旭こいのぼりWebより許諾転載

地御前では「御陵衣祭・馬飛ばし」の際に郷土文化保存会で準備した菖蒲とよもぎを配り、災厄を祓う風習が続けられています。

### 地区の話題

#### 国道開墾碑保全 工事完了

4月23(25)日、地御前神社境内にある国道開墾碑の老朽化による倒壊を防ぐための保全工事が地御前のミナミ組により、町内会による募金と赤い羽根共同募金からの分配金で施工されました。

明治20年(1887年)に建立されてから133年を経過しており、長年の風雨によって土台部分の土間コンクリートにひび割れができ、石碑の土台を囲んでいる石もコンクリートとの境界の土砂が流失して隙間ができて凸凹を生じていました。それらの既存コンクリートを撤去し、新しく鉄筋コンクリートを打設する工事が行われました。



バイブレーターを使って隙間なくコンクリートを打設しているところ

地元にある他の史跡と同じように、石碑建立の由来、碑文内容の説明などを明示した案内版を設置したいと地御前郷土文化保存会(会長・美川忍)で準備をしています。

### 防災マメ知識

#### 「指定緊急避難場所および指定避難所」について

普通の雨が、いつ災害時の大雨に変わるかはわかりません。気候の変動で、いろいろな災害がもはや他人事では無くなってきたとしても、実際にいざという時の必需品や行動について準備ができていない人は意外に少ないのではないのでしょうか。

今は豪雨に加え、コロナ禍への対応といった新たな要素が増えているので、それを踏まえた緊急避難のための防災グッズを平時に準備しておくことは大切です。

「指定緊急避難場所」は、切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所で災害種別ごとに指定されています。「指定避難所」は、災害により自宅に戻ることができない場合などに、一定期間避難生活を送る施設です。

災害時は状況に応じてこれらの施設を開設しますので、いざという時に、早めに避難できるように住んでいる地区の避難場所を確認しておきましょう。

なお、自主的に避難する場合は、市民センターから開設します。避難する前に市役所各支所に連絡し、職員の指示に従って避難してください。

名称	指定緊急避難場所					指定避難所	
	土砂災害	洪水	高潮	地震	津波	地震津波	左記以外
地御前市民センター	○	○	○	○	○ <sup>2F</sup>	○	○
野坂中学校	○	○	○	○	○	○	○
地御前小学校	○	○	○				○
地御前キラキラ公園	○	○	○	○	○		
広島総合病院立体駐車場		○	○		○*		

\*2F以上の階(スロープを含む)

### トセツクス

#### 御陵衣祭

6月25日、時折激しく雨が降る中、今年も地御前神社で御陵衣祭が行われ、初節句を迎える6組の家族が参列した。コロナ禍のために御社殿内への参列者を制限する感染拡大予防策がとられた。開始時間の午後2時が近づくにつれ、可愛い赤ちゃんたちを迎えて挨拶が交わされた。参列者は皆、マスクで口元は見えなかったが、眼元がほころんでいる様子はよくわかった。



#### お詫ごと訂正

じとせんひろば第98号に誤りがありましたので、ここに訂正し、お詫び申し上げます。  
第2面4段落目 小林千古 没年 明治11年→明治44年  
第3面4段落目 担当部長→担当責任者 首藤国義

### 編集後記

★コロナ禍で学校に行けない子どもたちにエールを送ろうという「鯉のぼりプロジェクト」が今年呼びかけられた。「鯉のぼり」の意味を改めて知りたくなった。気持ちを何か形にして表現することは、コミュニケーションであり、支えあいの別の形でもあるのだなあと考えた。

★コロナ禍により、様々な地元行事や活動が中止される中、厳島神社によって行われる御陵衣祭は三密回避を考慮しながら行われた。旧暦端午の節句に行われる神事だが、込められた平穩無事を願う気持ちは今も昔も変わらない。

★神社で子どもの健康を願って祝ってもらう神事に参列して、自分も孫ができてきたら、このようなお披露目が出てきて、祝えたらいいなあと考えた。このような体験や希望で、それぞれが幸せな未来に向かつて、いろいろな場でお互いが関わり合えるようになってゆけるといいなあと思う。(J.K)

#### 【発行】

地御前市民センター内  
地御前地区自治会 広報事業部

**自治会会長に吉本恒雄氏**



西田さん(左)と吉本さん(右)

令和2年5月、コロナ禍により総会は書面評決により行われ、長年にわたり会長の任を務められた西田弘展氏にかわり、吉本恒雄氏が選出された。しくお願いいたします。

《就任のあいさつ》

吉本 恒雄

この度、前任の西田会長に代わり、地御前地区自治会および自主防災会の会長を務めさせていただきますこととなりました。職責の重さを痛感いたしているところです。いずれの活動事業も町内会長様をはじめ各役員、各部長、各責任者、地域の皆様さらには関係の組織・団体の方々との連携・ご協力のもとで進めてまいります。よろしくお願いいたします。

さて、今年の1月以降半年

にもおよび新型コロナウイルスの感染拡大は、地域活動以前に世界・国家・社会に甚大な影響を及ぼしています。まずは衛生的安全を最優先にしながら、可能な範囲で自治会ならびに自主防災会の活動を進め

てまいります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

これまでの活動の基本として、これまでの標語「集まる、学ぶ、結ぶ」を引き継ぎつつ、新たに「明るく、元気で、生きがいのある地御前」を掲げたいと思います。

要約すると、

明るく 笑顔のあいさつ、元気で 元々まで健康、生きがい 安心・安全、

協働やりがい、

と考えます。皆様、共に明るく、元気で、生きがいのある地御前にしていきましょう。

《就任のあいさつ》

地御前地区自治会副会長兼町内会事業部長 山野 雄三

4月から藤咲部長に代わって副会長兼町内会事業部長を務めさせていただきますことになりました。何分にも不慣れでご迷惑をおかけすることと思いますが、ご指導の程よろしく願います。

ほとんどの町内会長さんが、

1年若しくは2年で交代される中、自治会の活動や行政からの情報を出来るだけ分かり易くお伝えすると共に、地域の課題解決に向けた取り組みを皆さんと一緒になって進めてまいりたいと考えています。町内会長さんをはじめ皆様には、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

《退任のあいさつ》

西田 弘展

地御前地区自治会のみなさまへ会長交代にあたりご挨拶申し上げます。

新会長を紹介いたします。吉本会長とは少年時代よりお付き合っていたき、ご存知のように

青少年健全育成のために町議

や有志の方々と地域の教育文化の翼としてポイスカウト佐伯第五団が創設されました。

吉本会長は鷹班の班長でした。野営の夜の見回りで、「早う、ならべや」と班をまとめる昼間の苦労を、寝ながら言っているのを聞いたことがあります。

リーダーシップ、メンバーシップ、

責任感の強い人格者でもあり

ます。住民の皆様におかれましては、これまで以上に、新会長及び地御前地区自治会へのご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

会長退任にあたり心がけた事項について、自分の今後の為記しておきます。「①快い笛の音に誘われて水中に引き込まれることなく、時や第三者をも俯瞰し、私的怠慢心に負けず、誠実で、真理を求め、マイノリティも尊重した意思決定。

②参加メンバーの方々には、役目を通じて、自己実現されること。役目の遂行する上で道義的にも過ちがないように。」

など、万全ではありません。

**地御前地区自治会組織人事**  
令和2年4月★は新改任

たが、心がけてまいりました。微力ながら、これまでみなさまのおかげでお手伝いでき、感謝しています。何を待たかと問われると、どうかこうにか、道端で「あいさつ」ができるようになったということだと思えます。

▼役員

- ★吉本 恒雄 (会長)
- ★西田 弘展 (副会長)
- ★山野 雄三 (副会長)
- ★山広 道雄 (副会長)
- ★美川 忍 (副会長)
- ★渡邊 隆弘 (監事)
- ★若宮 敬 (監事)
- ★向 佳 (総務部長)
- ★中田 秀郎 (書記会計)
- ★宮本 育生 (参与)
- ★佐々木泰治 (参与地七長)

事業部

- ★桐林 潤 (広報事業部長)
- ★勝谷 祐司 (文化事業部長)
- ★大庭 敏博 (福祉事業部長)
- ★山中 豊水 (保健体育事業部長)
- ★村上 廣美 (生活安全事業部長)
- ★川口 栄作 (青少年事業部長)
- ★文野 清 (環境衛生事業部長)
- ★山野 雄三 (町内会事業部長)
- ★林 忠正 (廿日市市議会議員)
- ★北野 久美 (廿日市市議会議員)
- ★林 真由美 (地御前小学校長)

- ★谷川 清二 (野坂中学校長)
- ★福坂 浩子 (地御前保育園長)
- ★吉岡 晃 (地御前漁協組合長)
- ★山崎 善広 (後中太橋地御前産直尾本 正浩 (地御前郵便局長)
- ★理事 (町内会長)
- ★山城 知彦 (扇園)
- ★山本 幸司 (興營住宅)
- ★川崎 徹 (サーパスシティ)
- ★野木 謙二 (金剛寺東)
- ★高見 慎一 (金剛寺西)
- ★沖野 寛信 (砂島)
- ★長門 朗 (要町)
- ★勝谷 祐司 (浜之町)
- ★湊崎 義則 (野坂)
- ★湊 敏昭 (緑ヶ丘)
- ★山野 雄三 (三景園)
- ★山本 和夫 (海晴丘)
- ★林 茂之 (自由ヶ丘)
- ★千原 保仁 (丸子町)
- ★森下 和是 (堀之町)
- ★菅 裕也 (堀中町)
- ★中元 和夫 (堀新町)
- ★藤本 一司 (北之町)
- ★中井 冬夫 (中之町)
- ★角 京子 (胡町)
- ★山田 隆治 (後町)
- ★永本 論 (南町)
- ★重田 正則 (桃山)
- ★中谷 和義 (鹿之子)
- ★山崎 三正 (田屋)
- ★佐藤 広明 (エスティム)
- ★松下 純治 (ルミナス)
- ★木戸 博士 (港町)
- ★砂田 廣人 (新港)
- ★美川 忍 (郷土文化保存会長)

**令和2年度に町内会長に就任された方々にご寄稿を頂きました。これから、宜しくお願い致します。**

**要町町内会長 長門 朗**  
この度、2度目の町内会長を引き受けることになりました。前回、地域のこともあまりわからない中で、多くの人の出会い、多くのことを学び色々な行事に参加させて頂きました。前回の経験をもとに、地域とのつながりを大切にし、住んでいて良かったと思える様な街になればいいなと思っています。皆様のご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

**千原 保仁**  
この度、2度目の町内会長を務めることになりました。前回の時に地域の多くの人達と交わることができ楽しい思い出がたくさんあります。市民センターのクラブ、地域の事業などに参加して活動するのいいと思います。新型コロナウイルスの関係で、出だしがつづいていますが、

**堀之町町内会長 森下 和是**  
この度、堀之町町内会長を務めさせて頂きました。前回の経験から、今回も多々不慣れな点もあろうかと思いますが、皆様からの温かなお力添えを頂きながら、地御前に住む一人として、安心して暮らせる町づくりに目指し、町内会の運営に携わってまいりたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

**野坂町町内会長 湊崎 義則**  
令和2年4月2回目の町内会長の始まりは、コロナウイルスの蔓延による外出自粛であらゆる催し・会議・大会の延期・中止が早々と決定という波乱の幕開けとなりましたが、コロナウイルス終息時に皆さんと一緒に地御前を盛り上げてゆきたいと思えます。どうぞよろしくお

**三景園町内会長 山野 雄三**  
町内会長を務めた時は、初めは6年前に終了する頃に、ようやく町内会の全容が分かってきたことを思い出します。前回の経験から、今回は少し落ち着いて町内会の運営にあたることのできるのではないかと考えているところでもあります。前任者からの引継ぎをしっかりと把握し、住みよい地域づくりのため、微力ながらお役に立てればと考えています。

**鹿之子町内会長 中谷 和義**  
この度、鹿之子町内会長を務めさせて頂く事になりました。地御前鹿の子に生まれ63年が経ちました。昔は、田畑と小高な山で自然そのものでしたが、いつの間にか住宅街になっていきます。社会人になつてからは、仕事に追われる日々を過ごしている間に、さらに地御前及び鹿の子が変化してきた様です(浦島太郎みたいです)。町内会の事がよくわからない自分でしたが、組の皆

**田屋町内会長 山崎 三正**  
故あって昨年の夏から、玄米食を続けております。と言つても一日食ですが玄米のみを炊いて食べています。この玄米食を続けるにはなかなかの根気と努力が要ります。当初三日坊主になるまいと心に決めて取り組んでまいりましたので何とか続けてきました。ところが最近この心境が変わってきたのです。なんだか体調がよくなつて元気になってきたのです。以前は体のだるい感じがしておりましたが、そのだるさがあまり感じなくなつたのに気が付いたのです。お陰で畑仕事

**後町町内会長 山田 隆治**  
新型コロナウイルスのため、大変な年になりました。何ができるのか、どこまでできるのか分かりませんが、これまでのしがらみにとらわれず、少しでもお役に立てるよう努めます。不器用ですが、どうぞよろしく申し上げます。

**桃山町内会長 重田 正則**  
前年度の3月下旬に前会長から引継ぎを受けました。会長を始め役員役割は多岐に渡り、防犯児童・敬老・体育や住民からの苦情対応等、さまざまな課題について対応されており、ご苦労も多かったと推察します。私は町内会を代表する立場は初めての経験であり、未熟な点が多々あると承知しております。皆様からの温かなお力添えを頂きながら、町内会の運営に携わってまいりたいと考えております。どうぞ、何卒ご指導ご協力のほど、よろしく申し上げます。